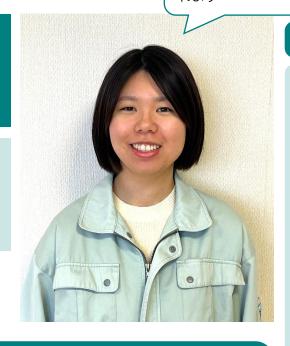
上司や先輩が親身 になって教えてく れます

総合土木

高橋 奈生

最上総合支庁産業経済部 農村整備課 (令和5年度採用)



農村づくりのエキスパート

|現在の担当業務は

農地の大区画化などを行う区画 整理工事の発注・監督業務を行っ ています。工事を進めていくと 様々な問題が発生しますが、たく さんの方と協力しながらそれらを 乗り越え、工事完成に至った時は 達成感を感じます。

|職場の雰囲気は

分からないことがあっても、上 司や先輩方が親身になって教えて くれます。また、様々なイベントが あるので仲を深めやすいと思いま す。



工事検査の様子

|県職員を選んだ理由は

社会インフラの整備や農業生産 基盤の整備など、県民の生活を支 える仕事に魅力を感じ、県職員を 志望しました。

| 県職員になって感じたギャップは

デスクワークが中心の仕事だと 思っていましたが、実際は現場で の打合せや工事の進捗状況確認な ど、外に出る機会が多いと感じま した。



先進地視察の様子

ある一日の流れ



8:30

メールのチェック

9:00

打合せ

10:30

工事費の試算

12:00

休憩 (昼食)

13:00

現場確認

16:30

報告書作成

17:15

業務終了

